

さくらおばあさんとボク

～ 未来をつくる、やさしさのチカラ ～



ふくのしまだより

...

ふくのしまだ

まだより



特別養護老人ホームふくのしまのさくらまつり！
みんなで季節のおとずれを味わう一大イベントです♪

寄付をいただき、
謝しております。

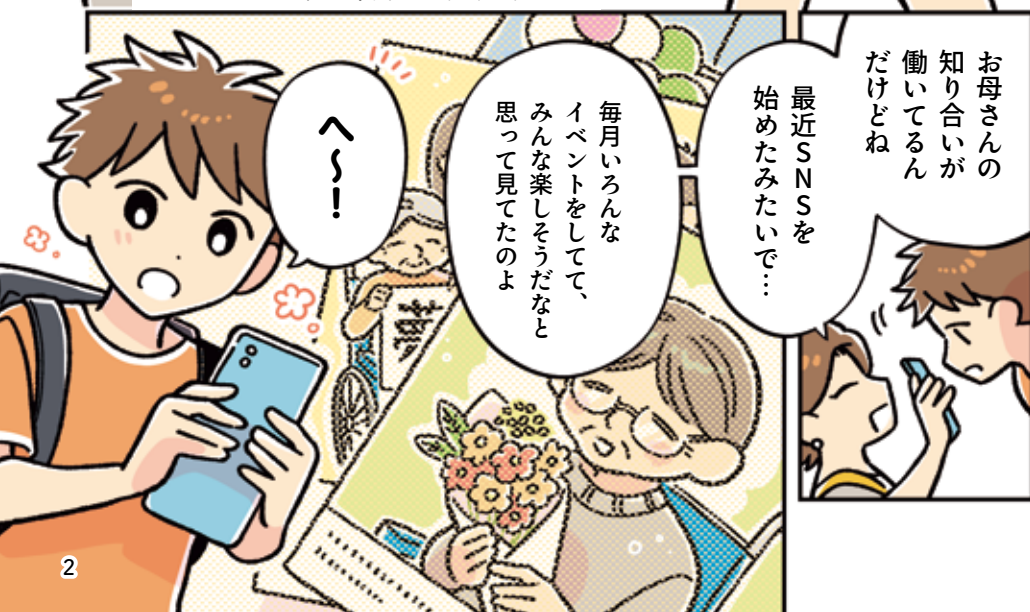
ふくのしまではクリスマスに向けて、
クリスマスリースを制作しました！

福島県委託事業

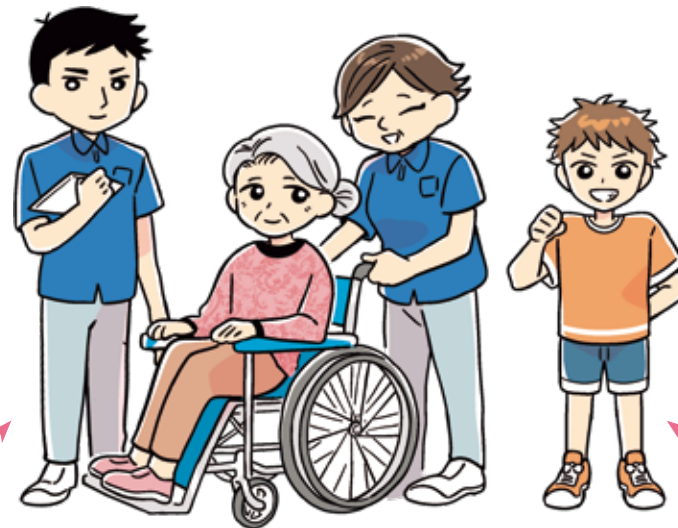
社会福祉法人 福島県社会福祉協議会
福島県福祉人材センター



※ SNS … ソーシャル・ネットワーキング・サービス



本作の登場人物



甲斐さん

「ふくのしま」で働く、
しっかり者でやさしい介護福祉士。

さくらさん

「ふくのしま」に入居している 88 才。
昔の職業は農業。

ほたるさん

「ふくのしま」で働く
エネルギッシュな介護職員。

元気くん

元気いっぱいな小学 5 年生の男の子。



お母さん

元気くんの母。
福祉関係の仕事をしている。



那須さん

利用者の健康を管理する看護師。



栄治さん

毎日の食事で利用者の健康を守る管理栄養士。



ことはさん

話すことや食事のサポートをする言語聴覚士。



施設長

特別養護老人ホーム「ふくのしま」の施設長。



西田さん (90)

特別養護老人ホーム「ふくのしま」の利用者。さくらさんの友達。



南川さん (78)



中山さん (85)



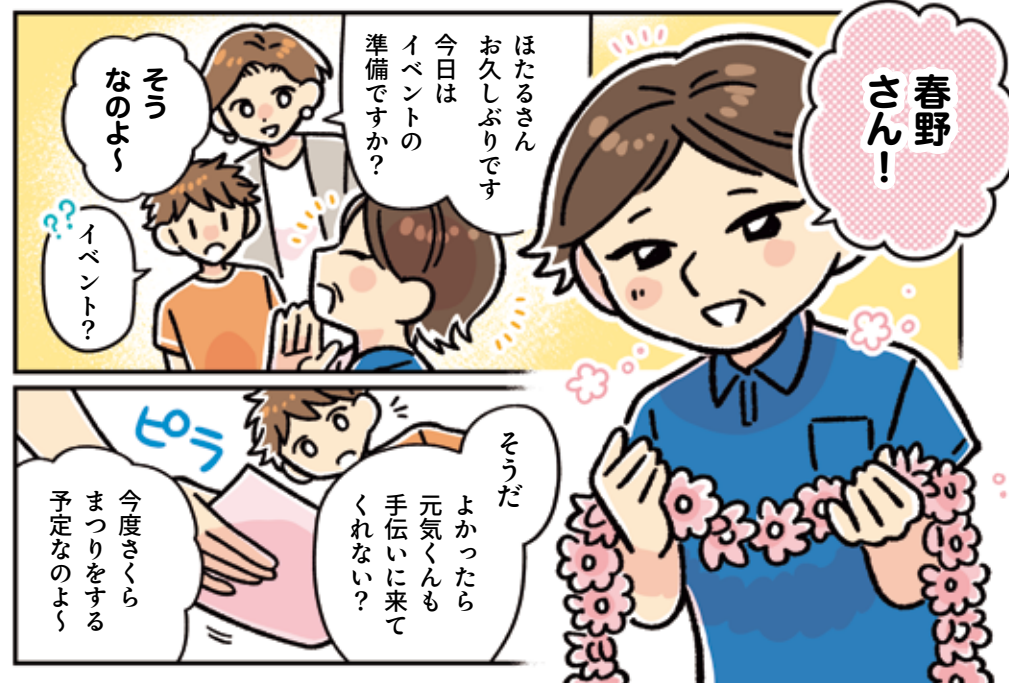
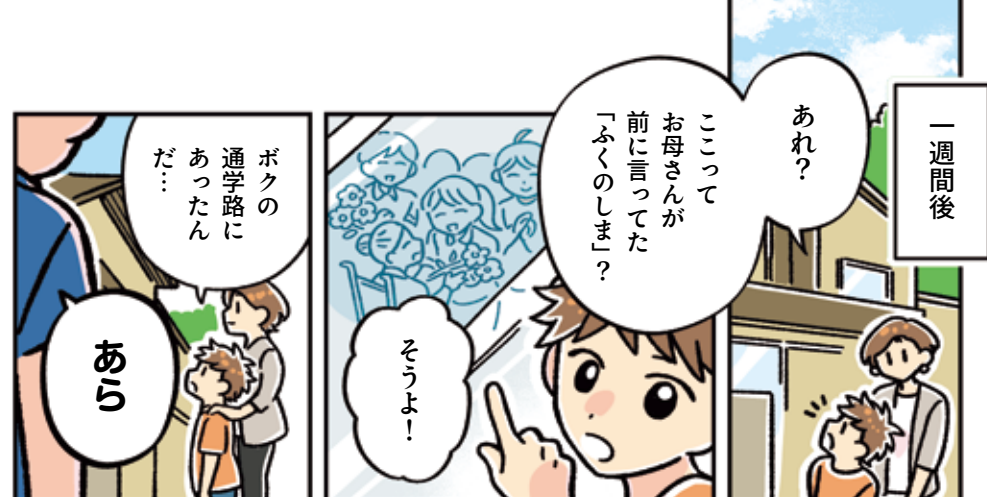
楽々亭店主

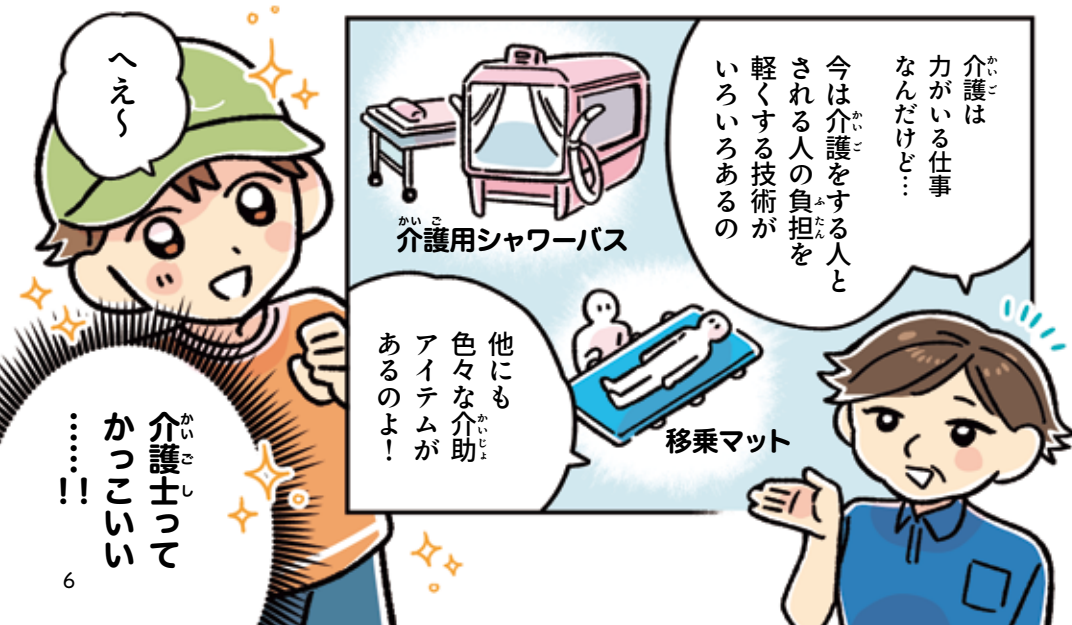
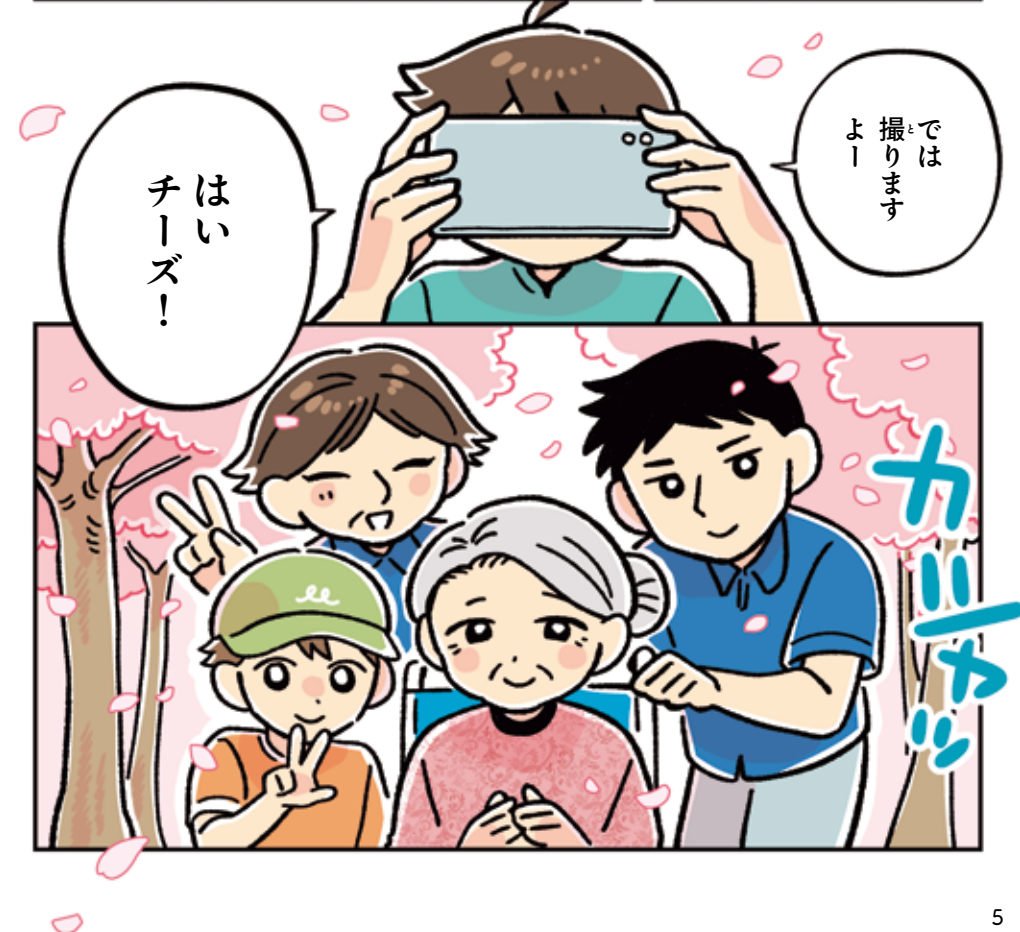
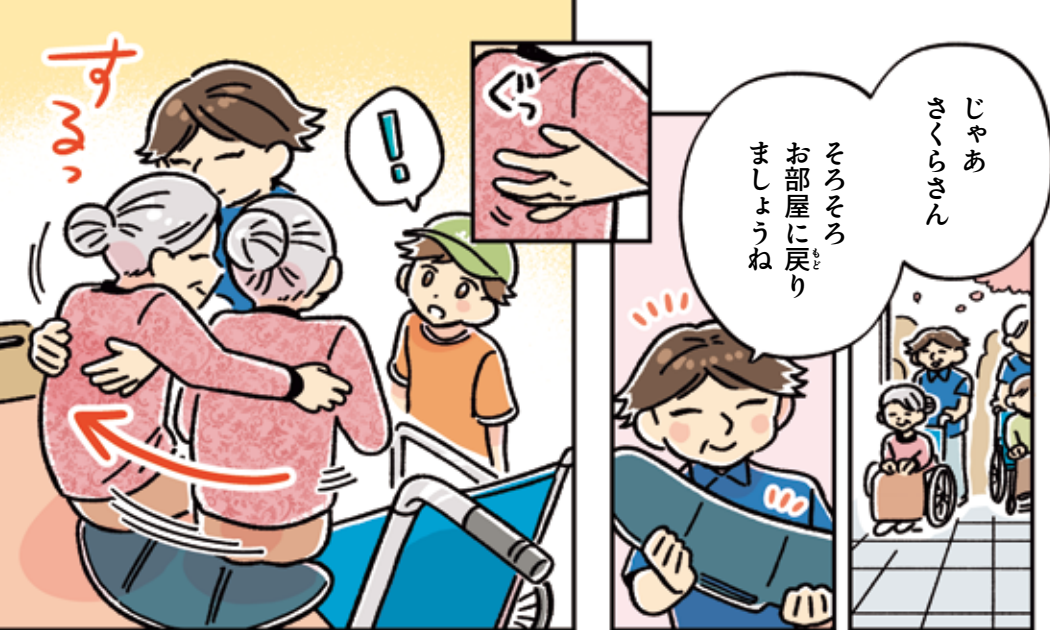
地域に愛される老舗ラーメン屋「楽々亭」店主。

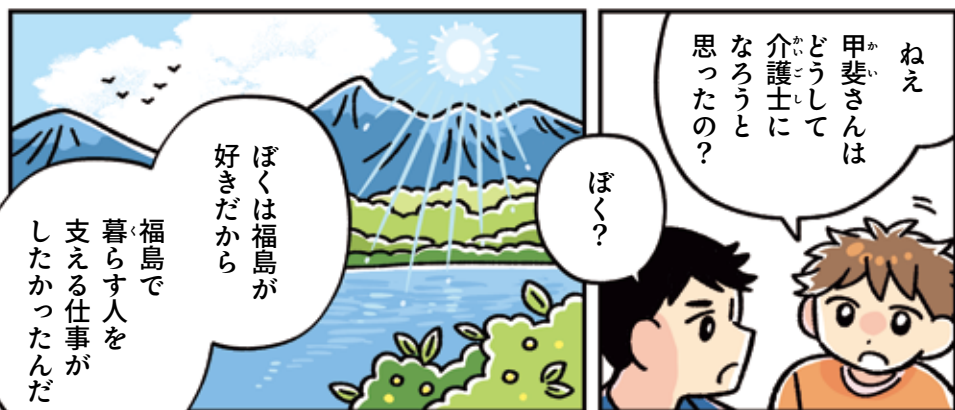


みはるさん

さくらおばあさんの娘。県外で働いている。







夏祭り当日

ほたるさん
甲斐さん！

あら
元気くん
お祭り
楽しんでる？

うん！
2人は
何してるの？

だから今度は
ぼくたちが力に
なりたいんだ

おじいちゃんや
おばあちゃんが
がんばってきた
歴史があるから
ぼくたちの
今の生活が
あるんだよ

介護はその人を
支えるだけじゃ
なくて、

そこに暮らす
みんなを
チームで支える
仕事なんだよ

私たちは
SNS用の写真を
撮ってるのよ
はなれて暮らす
入居者さんの
ご家族のために
いい写真を
撮らなきゃね！※

元気くんや
入居者さんたちに
かけがえのない
1日を過ごして
もらうことが

ぼくらの
使命
ですから

ええ

ボクも
お手伝い
したい！

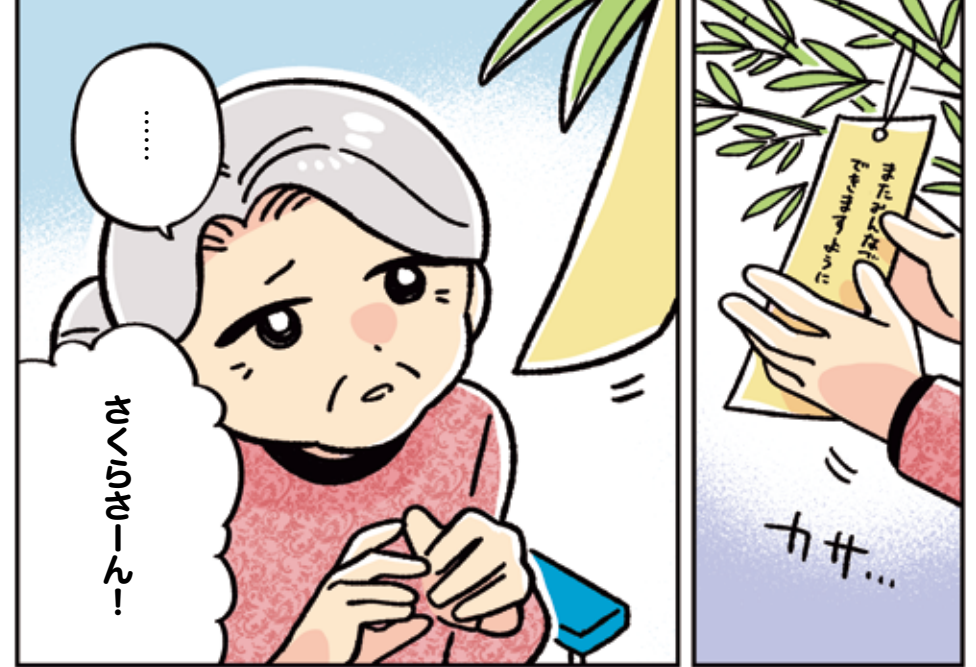
本当かい？

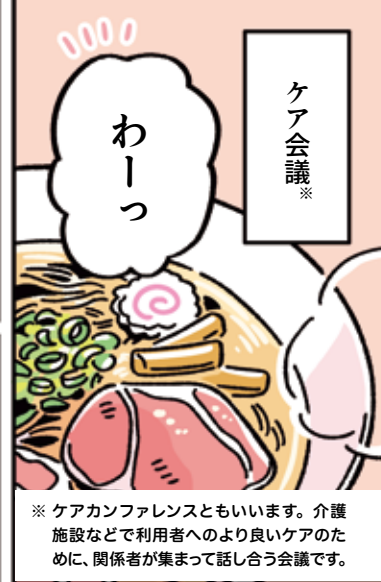
うん！

任せて
よ！

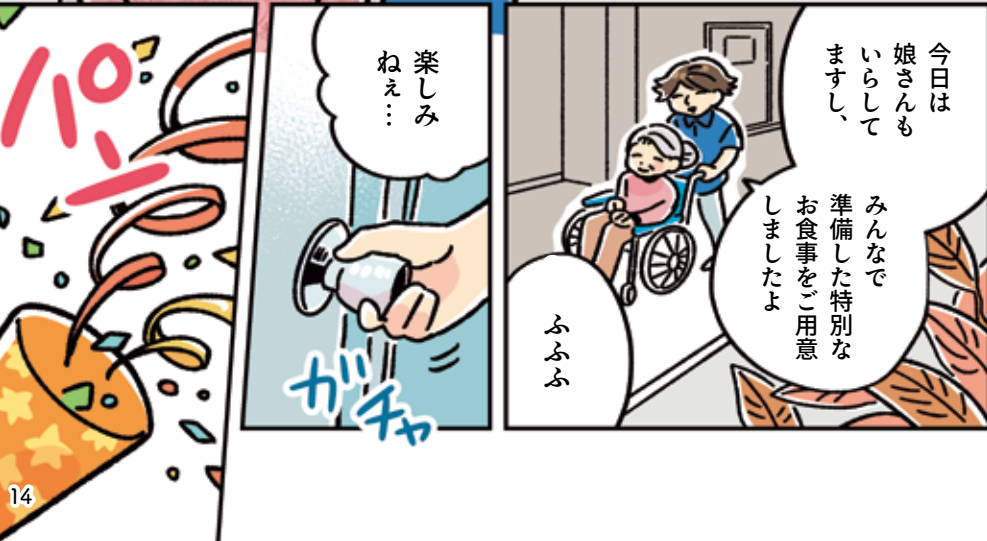
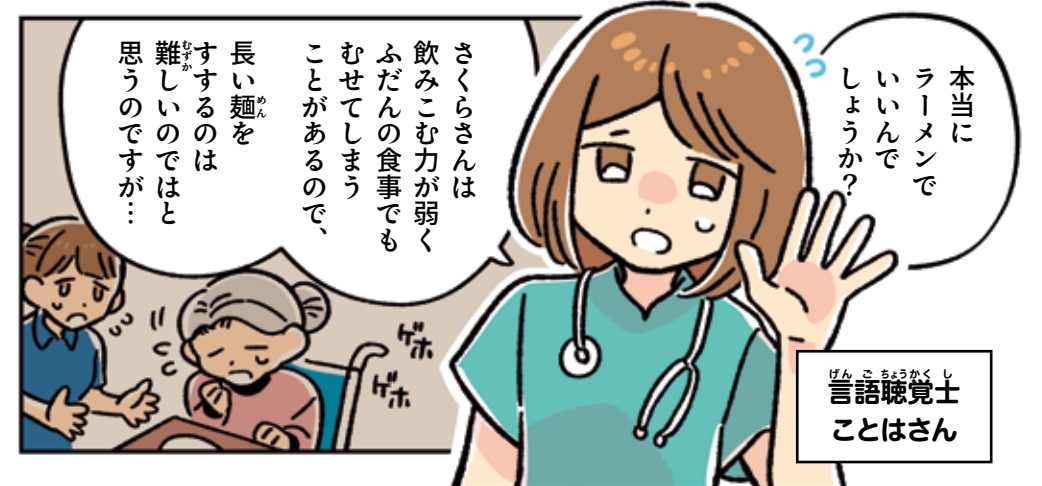
甲斐さんワンポイント

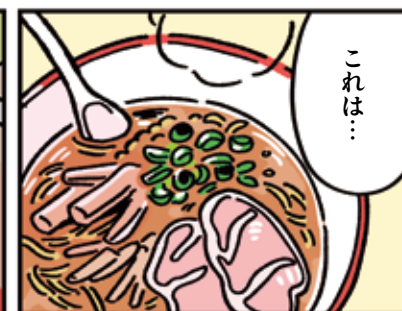
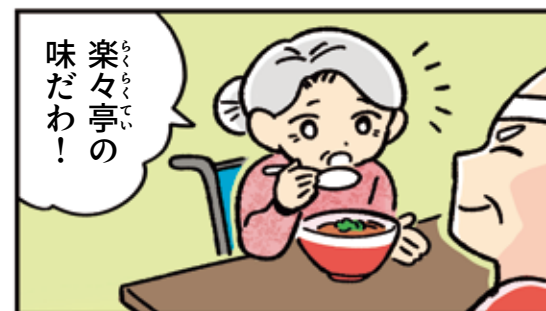
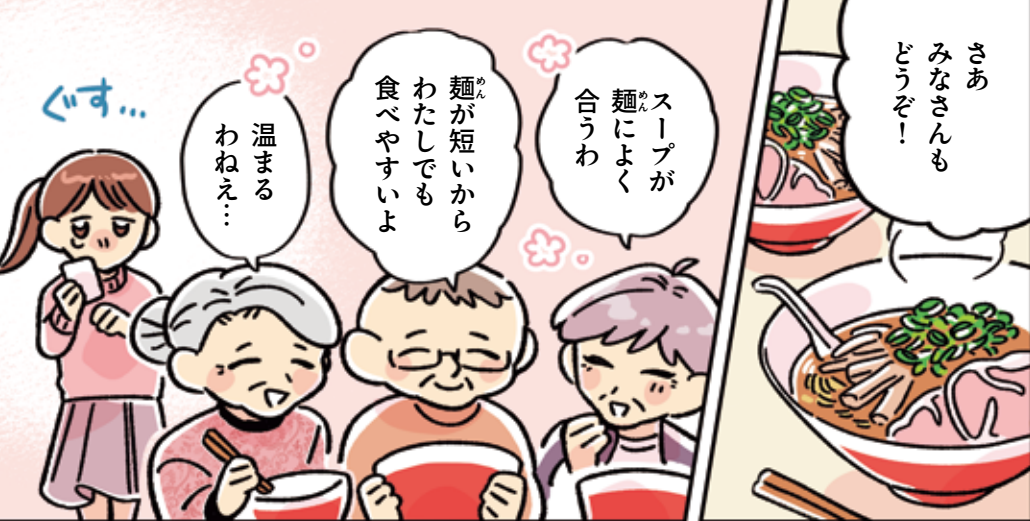
※ 写真は利用者さんやご家族からの同意を得てSNSにけいさいしているよ。
誰かの写真を勝手にさつえいしたり、SNSにアップするのはやめようね。

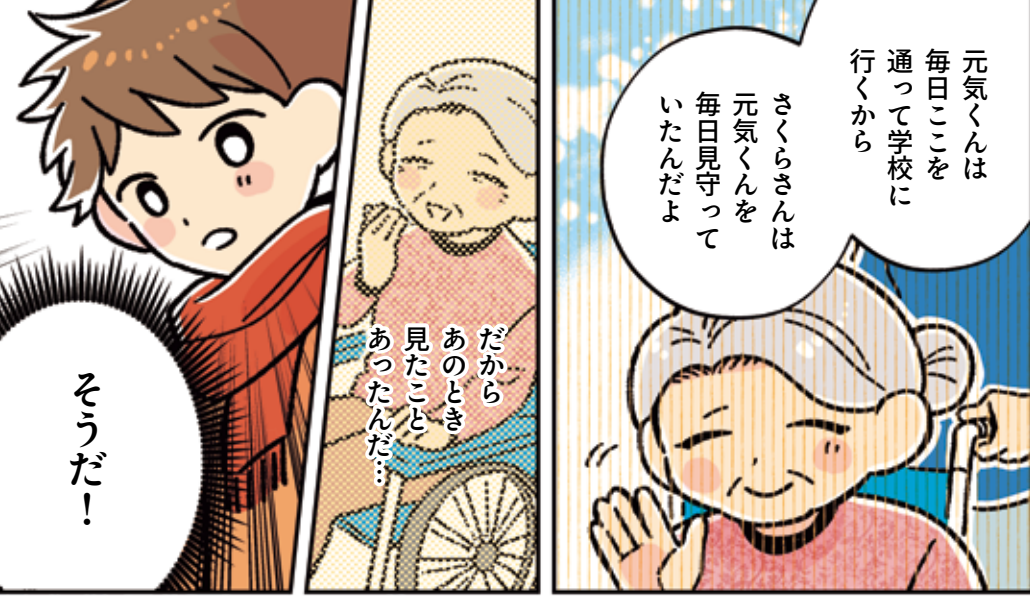




※ ケアカンファレンスともいいます。介護施設などで利用者へのより良いケアのために、関係者が集まって話し合う会議です。







介護の仕事って どんなことをするの？

介護は「できる喜び」をシェア（共有）し、
「できないこと」をケア（お手伝い）するお仕事です。



入浴のお手伝い



トイレの
お手伝い



移動のお手伝い

その人らしい暮らし



本人の願いや
希望をかなえる



起きる準備や
寝る準備のお手伝い



きがえのお手伝い



みが
歯磨きのお手伝い



食事のお手伝い

介護の三原則

①生活の継続性

今まで通りにくらすこと

介護を必要とする人が、
昔から住んでいた家で、
今までと同じように、で
きるだけいつもの暮らし
を続けられるように応援
することです。

②自己決定の尊重

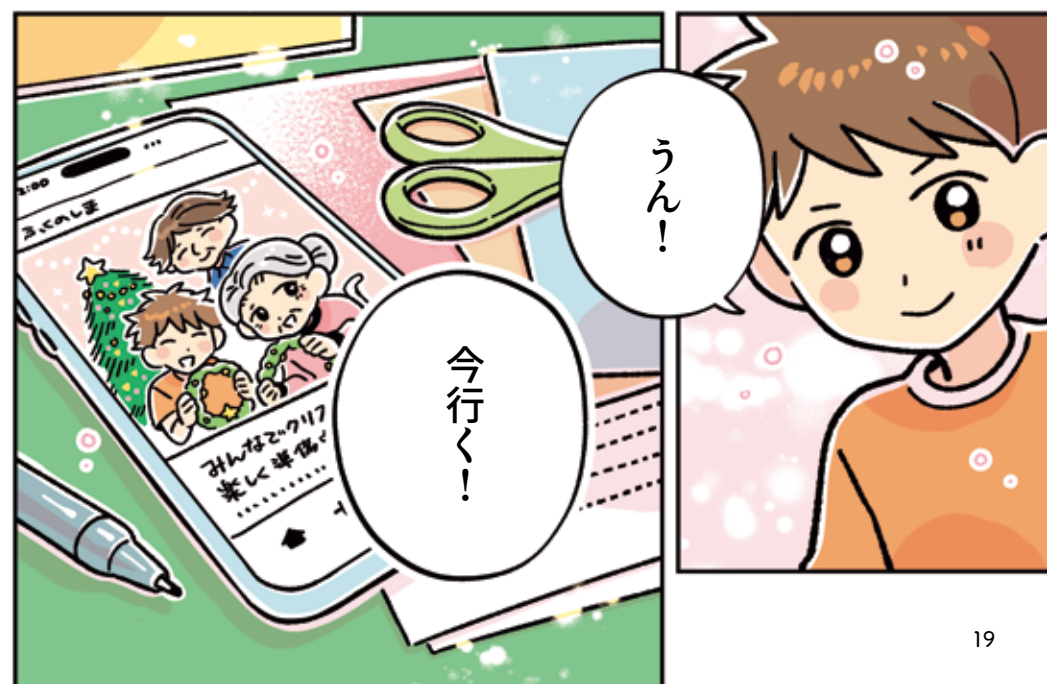
自分で決めること

介護を必要とする人が「あ
あしたい」「こうしたい」
と自分で決めたことを、
まわりの大人は「いいね」
と聞いて、その通りにし
てあげることです。

③残存能力の活用

自分でできることはすること

介護を必要とする人が自分
でできることは、自分でやっ
てもらってください。手伝い
すぎると、かえって力が弱
くなってしまうことがある
からです。



介護の現場における新しい技術

介護ロボットやAI※などの「新しい技術」が利用者の生活を支えています。

※AI…人工知能



移乗サポートロボット

ベッドから車いすへの移動や、立ち上がる動作を手伝ってくれるロボットです。ロボットがやさしく体を支えたり、ゆっくり持ち上げてくれるので、介護をする人もされる人も体の負担が少なくなります。



コミュニケーションロボット

会話したり、表情や動きで気持ちを伝えることで、利用者の友達になるロボットです。はなれてくらす家族と通信できるロボットもあります。



ベッド見守りセンサー

眠っているときのからだの動きや脈拍、起きたときの状態をリアルタイムで見守ります。

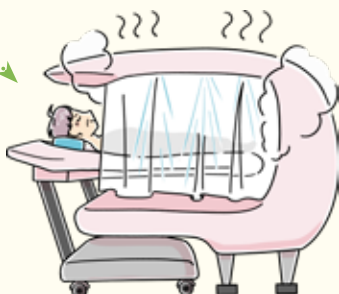


マッスルスーツ

体につけることで、重い物を持ち上げる力を助けてくれる道具です。介護で人を支えるときに使うと、介護者の負担を減らすことができます。

介護用シャワーバス

体が不自由な人が安全に入浴できるよう、優しく温かいミストシャワーで体をきれいにしてくれる特別なお風呂です。



「介護の職場」にはどんな人が働いているの？

いろいろな分野のプロフェッショナルがチームで支えています。

介護を必要とする人は、「家での生活を続ける人」「施設へ入所する人」「日中だけ施設を利用する人」などいろいろです。そうした生活を支えるために、多くの職種のスタッフが関わっています。



介護を必要とする方の生活を支えるためにプロフェッショナルが集結！

●介護職員

食事、入浴、トイレ、きがえ、移動の手助けなど生活に必要なお手伝いをします。

●看護職員

利用者の健康管理や感染予防の指導などをします。

●介護支援専門員（ケアマネジャー）

利用者一人一人に合わせた介護の計画を作り、いろいろな機関とつながります。

●作業療法士

工作や手芸などの作業を通して体の機能を保ち続けることを助けます。

●理学療法士

「立つ」「歩く」「すわる」など基本的な動作が回復するようにリハビリテーションなどを行います。

●言語聴覚士

「うまく話せない」、「声が出にくい」、「上手に飲みこめない」、「声が聞きとれない」人のサポートを行います。

●管理栄養士

栄養バランスのよいメニューを考えたり、食べ方や栄養について教えたりして、みんなの健康を食事面からサポートします。

●生活相談員

施設でのいろいろな手続きのサポートをしたり、利用者やご家族の相談に応じたりします。

●事務職員

利用者やそこで働く人たちの裏でサポートする仕事。電話の対応、書類をまとめる、お金のチェックなどを行います。

介護の仕事の プロフェッショナルに なるには？

小学校

中学校

高校

普通科

専門学科（福祉科）

専門的な知識が学べるよ

専門学校
（介護）

短期大学
（福祉系）

大学
（福祉・介護）

介護士として働く

介護の仕事のプロフェッショナルへ

福祉や介護について
学ぶことができる高校
もあります。大学や専門
学校で専門的な知識
や技術をしっかり学ぶ
こともできます。

福祉や介護に
ついて学べるよ

